

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

信越自然郷におけるDMO構築推進による観光地域づくり計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

新潟県妙高市並びに長野県中野市及び飯山市並びに長野県下高井郡山ノ内町、木島平村及び野沢温泉村、上水内郡信濃町及び飯綱町並びに下水内郡栄村

3 地域再生計画の区域

新潟県妙高市並びに長野県中野市及び飯山市並びに長野県下高井郡山ノ内町、木島平村及び野沢温泉村、上水内郡信濃町及び飯綱町並びに下水内郡栄村の全域

4 地域再生計画の目標

平成 26 年 3 月に開業した北陸新幹線「飯山駅」の開業効果を最大限に活かすため、飯山駅を基点とする 20Km 圏域をひとつのエリアと捉え、エリア内の地方公共団体（飯山市、中野市、新潟県妙高市、山ノ内町、信濃町、飯綱町、木島平村、野沢温泉村、栄村）で信越 9 市町村広域観光連携会議を平成 24 年 1 月設立、同年 8 月に行政、観光、商工、農業、交通、報道の各関係団体（平成 29 年 3 月末現在 63 団体）による組織に拡大し、顧客視点に立ち、旅行商品の開発、プロモーション、イベント開催など連携した取組を実施してきた。また、多くのスキー場、温泉、高原など多彩な観光資源と縄文時代から根付く文化を持つこのエリアを「信越自然郷」と命名し、このエリアの提供すべき価値を「アウトドア」、「食文化」、「リラクゼーション（保養・休養）」とし、世界水準の滞在型観光地、世界中から顧客を呼べる観光リゾート地とすることを目指す。

平成 28 年 2 月に、構成団体である「一般社団法人信州いいやま観光局」を地域連携 DMO 候補法人に登録し、DMO が中心となり、観光地域づくりに取り組んでいるが、まだまだ、エリアの認知度、知名度も低く、収益を得る状態にない。

信越自然郷エリアが提供すべき価値を来訪者が、ハイキング、トレイル、サイクリング、カヌー等のアクティビティを楽しみながら、目的地間を移動し、移動行動自体を楽しむ旅行スタイルの中で体験できるプログラムづくり、旅行商品化を進めると共に、このエリアの認知度、知名度をあげ、「稼ぐ力」を創出する。

【数値目標】 K P I

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	K P I 増加 分の累計
観光消費額 (億円)	441	8	8	9	25
延宿泊者数 (万人)	564	11	11	11	33
飯山駅観光案内所窓口利用者数(人)	65,464	1,309	1,335	1,362	4,006

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

信越自然郷エリアが、世界水準の滞在型観光地となるべく、「信越9市町村広域観光連携会議」と地域連携DMOである「(一社)信州いいやま観光局」が一体、連携をし、DMO構築及び組織強化、保養・獲得型旅行商品開発及びプロモーション、地域ブランドを活かすための受入コンテンツ整備を実施する。

5-2 第5章の特別措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府)【A3007】

① 事業主体

新潟県妙高市並びに長野県中野市及び飯山市並びに長野県下高井郡山ノ内町、木島平村及び野沢温泉村、上水内郡信濃町及び飯綱町並びに下水内郡栄村

② 事業の名称：信越自然郷における DMO 構築推進事業

③ 事業の内容

信越自然郷エリアが、世界水準の滞在型観光地となるべく、「信越9市町村広域観光連携会議」と地域連携DMOである「(一社)信州いいやま観光局」が一体、連携をし、下記の事業を実施する。

【DMO構築及び組織強化】

DMO組織の強化、構築を行う。

【保養・獲得型旅行商品開発及びプロモーション】

エリアの価値を体験できるプログラム造成、販売及びエリアの認知度、知名度を上げるためPRを実施する。

【地域ブランドを活かすための受入コンテンツ整備】

アウトドアアクティビティを楽しめる環境の整備を行う。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

観光地域経営の主体となる地域連携 DMO の体制を確立し、着地型旅行商品の造成販売促進、宿泊手配等手数料の増収及び信越 9 市町村の一般財源による支援により事業継続を図る。

【官民協働】

信越 9 市町村広域観光連携会議（行政、観光協会、農業団体、交通事業者、報道 63 団体で構成）で制定した基本構想に基づき、地域連携 DMO と連携、一体となり事業を進める。地域連携 DMO は、観光地域づくりのかじ取り役となるほか、旅行商品造成、販売を行い「稼ぐ力」を創造する。

【政策間連携】

DMO を構築し、多様な関係者の合意形成のもと、効果的なマーケティング、観光地の一体的なブランドづくりなどの観光振興を戦略的に行い、二次交通や道路整備等インフラの活用、価値ある食の提供などのまちづくり・地域活性化と連携して、観光資源の磨き上げを行う。

【地域間連携】

信越 9 市町村が、観光協会、農業団体、交通事業者、報道機関等と連携し、地域連携 DMO と一体となり事業を進める。また、長野県、新潟県と連携を図りながら観光地域づくりを進める。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】 K P I

	事業開始前 (現時点)	平成 2 9 年度 増加分 (1 年目)	平成 3 0 年度 増加分 (2 年目)	平成 3 1 年度 増加分 (3 年目)	K P I 増加 分の累計
観光消費額 (億円)	441	8	8	9	25
延宿泊者数 (万人)	564	11	11	11	33
飯山駅観光案内所窓口利用者数 (人)	65,464	1,309	1,335	1,362	4,006

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、信越9市町村広域観光連携会議事務局である飯山市がK P Iの達成状況を取りまとめて、各市町村が有識者や議会の関与を得ながら設置する組織において検証結果報告をまとめる。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業経営方針に反映させる。検証結果はHPで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

- ・ 法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 43,400千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から、平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度、信越9市町村広域観光連携会議事務局である飯山市が達成状況を取りまとめて、各市町村が有識者や議会の関与を得ながら設置する組織において、本事業についてPDCAサイクルによる検証を実施する。

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加 分の累計
観光消費額 (億円)	441	8	8	9	25
延宿泊者数 (万人)	564	11	11	11	33
飯山駅観光案 内所窓口利用 者数(人)	65,464	1,309	1,335	1,362	4,006

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表方法

中間時点及び計画期間終了後、各市町村のホームページや広報誌にて公開する。